

令和元年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について

大台町教育委員会
令和元年10月

本年4月に小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、7月31日に文部科学省から公表されました。

調査結果や本町における児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果、今後の取組を以下のとおりまとめました。

調査結果の取扱いについては、文部科学省が示す実施要領における「(5) 調査結果の取扱いに関する配慮事項等」をご覧ください。

なお、本町からのこの調査への参加者は、小学校4校60名、中学校2校68名です。

1 教科に関する調査の結果・分析

※結果の分析は、平均正答率が全国平均正答率と比較し、5%以上のものを「強み」と捉え、5%以下のものを「弱み」として捉え記述しました。全国と比べて理解されているかどうかという観点で記述しました。

(1) 本町における特徴的な傾向

<小学校国語>

○強み

- ・問題1一：公衆電話について調べたことを【報告する文章】で〈資料2〉と〈資料3〉をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する

平均正答率：76.7%（全国：71.2%）

→図表やグラフなどを用いた目的を捉えることができます。

- ・問題1三：公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く

平均正答率：41.7%（全国：28.8%）

→目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができます。

- ・問題1四(1)ア：公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の―部アを、漢字を使って書き直す
(調査のたいしょう)

平均正答率：51.7%（全国：41.9%）

- ・問題1四(1)イ：公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の―部イを、漢字を使って書き直す
(友達にかぎらず)

平均正答率：76.7%（全国：69.4%）

→学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができます。

- ・問題 1 四 (2) : 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の の一文を、接続語「そこで」を使って2分に分けて書き直す
 平均正答率 : 53.3% (全国 : 47.8%)
 →文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことができます。
- ・問題 2 一 (2) : 食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の に、 の②に対する答えになるように考えて書く
 平均正答率 : 81.7% (全国 : 75.9%)
 →目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくことができます。
- ・問題 2 二 : 梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する
 平均正答率 : 95.0% (全国 : 88.5%)
 →目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことができます。
- ・問題 3 一 : 豊職人への【インタビューの様子】の に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する
 平均正答率 : 88.3% (全国 : 81.3%)
 →話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすることができます。
- ・問題 3 三 : 【インタビューの様子】の に、豊職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く
 平均正答率 : 78.3% (全国 : 68.2%)
 →話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができます。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域等の観点から見て、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は非常に力がついています。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関しても全国と比較して随分と力がついています。
- ② 評価の観点から見ると、「国語への関心・意欲・態度」「言語についての知識・理解・技能」については、非常に高い数値を示しています。また、他の3観点「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」についても高い数値を示しています。
- ③ 国語は、全国平均と比較しても高い力を示しています。

<小学校算数>

○強み

- ・問題3(1): $350 - 97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く
平均正答率: 95.0% (全国: 81.8%)
→示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができています。
- ・問題3(3): 被除数と除数にかけの数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する
平均正答率: 85.0% (全国: 74.9%)
→示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算することができています。
- ・問題3(4): $1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ
平均正答率: 56.7% (全国: 47.0%)
→示された除法の式の意味を理解しています。
- ・問題4(2): 何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求める式を書く
平均正答率: 80.0% (全国: 68.6%)
→示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができています。
- ・問題4(3): 残り7ポール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する
平均正答率: 68.3% (全国: 62.6%)
→場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断することができています。

○弱み

- ・問題2(3): 二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く
平均正答率: 46.7% (全国: 52.1%)
→資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述することができていません。
- ・問題3(2): 減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く
平均正答率: 25.0% (全国: 31.1%)
→示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述することができていません。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域から見て、「数と計算」については高い数値を示しています。また、「量と測定」「数量関係」についても力がついています。
- ② 評価の観点からは、「数学的な考え方」「数量や図形についての技能」「数量や図形についての知識・理解」とも力がついていることが読み取れます。
- ③ 算数についても全国より高く、力がついています。

<中学校国語>

○強み

- ・問題1四：「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く

平均正答率：61.8%（全国：56.8%）

→封筒の書き方が理解されています。

- ・問題4：語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する

平均正答率：85.3%（全国：78.7%）

→語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方が理解できています。

○弱み

- ・問題2一：話し合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する

平均正答率：75.0%（全国：80.4%）

→話し合いの話題や方法を捉えることができていません。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域等から見て、「書くこと」や「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関しては力がついています。「話すこと・聞くこと」に関しては、もう少し力を付ける必要があります。
- ② 評価の観点から見ると、「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「言語についての知識・理解」については、高い力を示しています。「話す・聞く能力」は、やはり力を付ける必要があります。
- ② 国語については、全国平均より高い力を示しています。

<中学校数学A>

○強み

- ・問題3： $\triangle ABC$ を、矢印の方向に $\triangle DEF$ まで平行移動したとき、移動の距離を求める

平均正答率：92.6%（全国：83.6%）

→平行移動の意味が理解できています。

- ・問題4：反比例の表から式を求める

平均正答率：58.8%（全国：48.9%）

→反比例の表から、 X と Y の関係を式で表すことができます。

- ・問題6（1）：冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pの Y 座標と点Qの Y 座標の差が表すものを選ぶ

平均正答率：50.0%（全国：38.8%）

→グラフ上の点Pの Y 座標と点Qの Y 座標の差を、事象に即して解釈することができます。

- ・問題7（1）：証明で用いられている三角形の合同条件を書く

平均正答率：86.8%（全国：75.8%）

→証明の根拠として用いられている三角形の合同条件が理解されています。

- ・問題8（1）：読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める

平均正答率：63.2%（全国：57.9%）

→資料を整理した表から最頻値を読み取ることができます。

- ・問題9（3）：連続する4つの奇数の和が $4(2n+4)$ で表されたとき、 $2n+4$ はどんな数であるかを選ぶ

平均正答率：86.8%（全国：69.6%）

→総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができます。

○弱み

- ・問題8（3）：図書だよりの下書きに書かれている分かったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ

平均正答率：47.1%（全国：53.6%）

→問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断できていません。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域等から見て、「関数」については高い数値を示し、十分力がついています。「数と式」「図形」についても全国より高い数値を示しています。しかし、「資料の活用」については、全国平均並み数値となっています。他と比べてもう一度やっておく必要があります。
- ② 評価の観点からは、「数学的な見方や考え方」「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」の3観点とも高い数値を示しています。
- ② 数学に関しては、全国平均より高い数値を示しているところから、力がついているといえます。

<中学校英語>

○強み

- ・問題 1 (3) : 外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する

平均正答率 : 83.8% (全国 : 72.3%)

→日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができています。

- ・問題 2 : イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える

平均正答率 : 80.9% (全国 : 71.8%)

→まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができています。

- ・問題 5 (1) : ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する

平均正答率 : 85.3% (全国 : 79.4%)

→日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができています。

- ・問題 6 : 発表活動のためにまとめられた 100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する

平均正答率 : 69.1% (全国 : 62.9%)

→まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができています。

- ・問題 8 : 食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く

平均正答率 : 17.6% (全国 : 10.9%)

→書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができています。

○弱み

- ・問題 5 (2) : ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する

平均正答率 : 63.2% (全国 : 74.4%)

→日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができていません。

- ・問題 7 : チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する

平均正答率 : 23.5% (全国 : 32.8%)

→まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができていません。

■全体の傾向から見られる課題等

- ① 学習指導要領の領域等から見て、「書くこと」に関しては高い数値を示しています。「聞くこと」「読むこと」についても全国平均より高く、力がついていると言えます。
- ② 評価の観点からみて、「外国語の表現の能力」については高い数値を示しているものとそうでないものが混在することから、今後力を付けなければならない部分も見られます。「外国語理解の能力」や「言語や文化についての理式・理解」はどちらも力がついています。
- ③ 英語は全国平均より高い数値を示しているところから、力がついていると言えます。

2 質問紙調査（児童生徒用・学校用）に関する調査の結果・分析

(1) 自尊感情・生きる力について

【児童・生徒質問紙】

◇項目9：ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 98.3%（三重県95.3%、全国95.2%） 全国比+ 3.1
- ・生徒 97.0%（三重県94.3%、全国93.9%） 全国比+ 3.1

◇項目10：難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 78.3%（三重県78.7%、全国79.0%） 全国比- 0.7
- ・生徒 75.0%（三重県70.7%、全国70.3%） 全国比+ 4.7

◇項目5：自分には、よいところがあると思いますか

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 88.3%（三重県80.1%、全国81.2%） 全国比+ 7.1
- ・生徒 76.4%（三重県74.9%、全国74.1%） 全国比+ 2.3

◇項目8：将来の夢や目標を持っていますか

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 93.4%（三重県82.6%、全国83.8%） 全国比+ 9.6
- ・生徒 69.1%（三重県69.5%、全国70.5%） 全国比- 1.4

【学校質問紙】

◇項目11：調査対象の学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか（中学校：項目22）

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校100.0%（三重県85.7%、全国83.2%）
- ・中学校100.0%（三重県98.1%、全国98.6%）

■児童の場合、「自分には、良いところがある」と答えた児童が、全国よりも7.1ポイント高い数値を示しています。「将来の夢や目標」をもつ児童も、全国より9.6ポイント多くなっています。自己肯定感が強く、良い傾向にあるといえます。その反面、

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しているか」については、全国よりも低い数値を示しています。慎重であるのか、冒険を抑える傾向にあることが伺えます。

■生徒の場合は、「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがあるか」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しているか」「自分に良いところがあると思うか」については、全国平均よりもやや高い数値を示しています。しかし、「将来の夢や目標を持っているか」についてはやや低く、将来への夢や目標を持たせていくような指導が必要です。

■学校質問紙では、前年度までに「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしたか」という設問に、小中学校全校とも「よく行った」「どちらかといえばよく行った」と答えています。その取組が、子どもたちに将来の夢や目標を考えさせることになるものと考えられます。中学校は、もう少し深く考えさせることが必要になってくるのではないかと考えられます。

(2) 生活習慣について

【児童・生徒質問紙】

◇項目1：朝食を毎日食べていますか

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

- ・児童 95.0% (三重県95.2%、全国95.3%) 全国比－ 0.3
- ・生徒 94.1% (三重県93.5%、全国93.1%) 全国比＋ 1.0

◇項目2：毎日同じくらいの時刻に寝ていますか

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

- ・児童 91.7% (三重県80.9%、全国81.4%) 全国比＋10.3
- ・生徒 85.3% (三重県76.6%、全国78.0%) 全国比＋ 7.3

◇項目3：毎日同じくらいの時刻に起きていますか。

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

- ・児童 98.4% (三重県91.5%、全国91.6%) 全国比＋ 6.8
- ・生徒 91.2% (三重県92.3%、全国92.8%) 全国比－ 1.6

■「朝食を食べているか」という問いに対して、全国平均を前後する結果を示していますが、朝食を食べてこない児童・生徒が5～6%程度あります。これらの児童・生徒の状況を把握し、指導する必要があるのではないかと考えます。「寝る時間・起きる時間」については、児童は全国平均を上回っていますが、生徒は「起きる時間」が全国平均よりやや低くなっています。ある程度規則正しい生活ができているようです。しかし、起きる時間が一定せず、やや不規則傾向にある児童・生徒も少なからずいる状況が見えます。

(3) 学習習慣・読書習慣について

【児童生徒質問紙】

◇項目 17：家で、自分で計画を立てて勉強していますか。

(「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

- ・児童 78.4% (三重県 71.7%、全国 71.5%) 全国比+ 6.9
- ・生徒 64.7% (三重県 52.6%、全国 50.4%) 全国比+ 14.3

◇項目 18：学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

(児童・生徒とも、1時間以上と答えた割合)

- ・児童 68.7% (三重県 64.2%、全国 66.1%) 全国比+ 2.6
- ・生徒 76.4% (三重県 67.5%、全国 69.8%) 全国比+ 6.6

◇項目 19：学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。

(「30分以上」と回答した割合)

- ・児童 36.6% (三重県 37.4%、全国 39.8%) 全国比- 3.2
- ・生徒 23.6% (三重県 24.2%、全国 27.0%) 全国比- 3.4

◇項目 20：昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。

(「だいたい週に4回以上行く」「週に1～3回程度行く」と答えた割合)

- ・児童 26.7% (三重県 15.3%、全国 17.2%) 全国比+ 9.5
- ・生徒 13.3% (三重県 6.8%、全国 8.3%) 全国比+ 5.0

◇項目 21：読書は好きですか。

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 73.3% (三重県 74.5%、全国 74.0%) 全国比- 0.7
- ・生徒 54.4% (三重県 67.3%、全国 68.0%) 全国比- 13.6

【学校質問紙】

◇項目 59：調査対象の学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（教科共通）。

(生徒：項目 73)

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県 94.8%、全国 92.2%)
- ・中学校 100.0% (三重県 90.9%、全国 89.0%)

◇項目 60：調査対象の学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童（生徒）に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（教科共通）。(生徒：項目 74)

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県 96.3%、全国 95.5%)
- ・中学校 100.0% (三重県 92.9%、全国 92.3%)

◇項目 61：調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか。（生徒：項目 75）

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県 99.7%、全国 99.3%）
- ・中学校 100.0%（三重県 92.2%、全国 89.7%）

■家庭での学習についての質問で、計画を立てて学習している割合は、児童・生徒ともに全国より高い数値を示しています。特に生徒は高くなっています。児童・生徒とも 80%かそれに近い子どもが計画的に学習をしていることが伺えます。「平日 1 時間以上学習をしている」割合は、児童が全国平均より高い数値となっています。家庭学習に取り組んでいる児童・生徒が多くなっているようです。「2 時間以上の家庭学習」に絞ると、児童は町が 31.6%、全国は 29.5%、生徒は、町は 42.6%、全国は 35.5%と、児童・生徒とも家庭学習をしている割合は全国より高くなっています。家庭学習に取り組めていない児童・生徒に家庭学習の必要性について、さらに指導していく必要があります。

また、読書習慣については、児童・生徒とも 30 分以上読書していると答えた割合は全国より低くなっています。「読書が好き」と答えた児童・生徒の割合も、全国と比べて低く、特に生徒は低い数値となっています。しかし、普段学校図書館・図書室や町の図書館を利用する率は、全国よりも高い数値を示しています。読書時間は短く、読書を好きでない児童・生徒は多いが、本当に読書の好きな児童・生徒は全国よりも多く、その児童・生徒が読書しているのではないかと考えられます。何はともあれ、読書嫌いな児童・生徒に、読書が好きになるよう指導していく必要があります。

■家庭学習に対する学校の取組は、「保護者に対する児童・生徒の家庭学習を促すような働きかけ」や「家庭学習の与え方についての教職員の共通理解図ること」など、家庭学習の大切さを感じながら取り組みを進めている様子が伺えます。また、各小中学校とも「家庭学習の手引き」を作成し、保護者とともに家庭学習に取り組ませるよう働きかけてきているので、その成果が今後どのように出てくるかを注視していかなければなりません。

（４）学校・先生・授業について

【児童生徒質問紙】

◇項目 12：学校に行くのは楽しいと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 91.7%（三重県 85.5%、全国 85.8%） 全国比+ 5.9
- ・生徒 89.8%（三重県 83.8%、全国 81.9%） 全国比+ 7.9

◇項目 11：学級みんなで話し合っただけで決めたことなど協力して取り組み、嬉しかったことがありますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 85.0%（三重県 84.3%、全国 84.1%） 全国比+ 0.9
- ・生徒 95.6%（三重県 84.0%、全国 82.8%） 全国比+ 13.0

◇項目6：先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

・児童 91.6% (三重県87.8%、全国86.1%) 全国比+ 5.5

・生徒 89.7% (三重県83.7%、全国81.5%) 全国比+ 8.2

◇項目7：先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

・児童 91.2% (三重県87.5%、全国84.6%) 全国比+ 6.6

・生徒 96.7% (三重県94.2%、全国91.7%) 全国比+ 5.0

◇項目27：5年生まで(1, 2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか。(生徒：項目30)

(「ほぼ毎日」「週1回以上」と回答した割合)

・児童 36.6% (三重県34.2%、全国30.6%) 全国比+ 6.0

・生徒 61.8% (三重県37.1%、全国30.6%) 全国比+31.2

◇項目28：授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか。

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

・児童 83.4% (三重県86.9%、全国86.5%) 全国比- 3.1

・生徒 83.8% (三重県76.5%、全国78.3%) 全国比+ 5.5

◇項目30：授業で学んだことを、ほかの授業に生かしていますか。(生徒：項目33)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

・児童 90.0% (三重県82.0%、全国82.8%) 全国比+ 7.2

・生徒 85.3% (三重県75.8%、全国74.9%) 全国比+10.4

【学校質問紙】

◇項目12：調査学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか。

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

・小学校100.0% (三重県98.8%、全国96.6%)

・中学校100.0% (三重県97.5%、全国95.2%)

◇項目14：調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童(生徒)一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか(生徒：項目29)

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

・小学校100.0% (三重県99.7%、全国98.8%)

・中学校100.0% (三重県98.7%、全国98.6%)

■児童・生徒の多くは「学校に行くのが楽しい」と思っています。しかし、10%前後の児童・生徒が楽しくないと思っているのも事実であり、その原因を把握していくことも考えていかなければなりません。また、先生との関係で、「よいところを認めてくれている」「授業やテストで間違えたところや、理解していないところを、分かるまで教えてくれている」と答えた児童・生徒は、全国平均より高く、どの項目も90%前後の

子どもが感じています。特に分かるまで教えてくれていると感じている生徒は96.7%と高くなっています。教師との良好な関係が伺えます。授業の関係では、児童で「授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいか」で全国平均より低くなっているのが意外な結果と言えます。

■学校質問紙で、「学校生活の中で、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行ったか」という、児童・生徒との関係づくりを問うた質問でも、各校それぞれに取り組んでいます。このような取組が、児童・生徒との良好な関係をつくり出しているのだと考えます。

(5) 家庭・地域・社会について

【児童生徒質問紙】

◇項目4：家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。

（「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合）

- ・児童 88.3%（三重県76.6%、全国77.4%） 全国比+10.9
- ・生徒 86.7%（三重県76.0%、全国76.4%） 全国比+10.3

◇項目23：今住んでいる地域の行事に参加していますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 80.0%（三重県74.1%、全国68.0%） 全国比+12.0
- ・生徒 88.2%（三重県56.8%、全国50.6%） 全国比+37.6

◇項目24：地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 50.0%（三重県52.5%、全国54.5%） 全国比-4.5
- ・生徒 47.1%（三重県40.2%、全国39.4%） 全国比+7.7

◇項目25：外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 65.0%（三重県69.8%、全国68.6%） 全国比-3.6
- ・生徒 63.2%（三重県62.8%、全国62.4%） 全国比+0.8

◇項目26：日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 76.6%（三重県76.2%、全国76.1%） 全国比+0.5
- ・生徒 77.9%（三重県59.9%、全国59.3%） 全国比+18.6

◇項目22：新聞を読んでいますか。

（「ほぼ毎日読んでいる」「週に1～3回程度読んでいる」と回答した割合）

- ・児童 23.3%（三重県19.2%、全国19.0%） 全国比+4.3
- ・生徒 19.1%（三重県13.4%、全国12.7%） 全国比+6.4

■「家庭」で家の人と学校の出来事について話をする割合は、児童・生徒とも全国よりも10%以上高い数値を示しています。家庭生活が良好であることが伺えます。

- 「地域」との関わりでは、「地域の行事」への参加率は、児童・生徒とも高く80%を超えています。特に生徒は、全国を大きく上回っています。各校とも、「郷土愛を育む教育」を推進しています。過疎地である大台町では、子どもたちが地域の良さ、地域の人々の温かさに触れ、地域に愛着を持つ活動が大切であり、またそのための活動に各学校が取り組んでいます。その結果の現れと考えられます。今後も地域に根ざした取り組みを進めていくとともに、地域のことを考えさせることもしていかなければならないと考えます。
- 「社会」への関心では、「新聞」を読む割合は児童・生徒とも全国より高い数値を示していますが、少ないのが現状です。新聞を見ない生徒は、「テレビ」やネットでニュースをみているようです。だんだん状況が変わってきていると言わざるを得ません。

(6) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について

【児童生徒質問紙】

- ◇項目 35：5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか（生徒：項目 37）
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）
 - ・児童 83.3%（三重県78.9%、全国80.9%） 全国比+ 2.4
 - ・生徒 79.5%（三重県77.6%、全国74.8%） 全国比+ 4.7
- ◇項目 36：5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか（生徒：項目 38）
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）
 - ・児童 71.6%（三重県61.2%、全国62.5%） 全国比+ 9.1
 - ・生徒 52.9%（三重県55.2%、全国55.8%） 全国比- 2.9
- ◇項目 29：学級の友達と（生徒）の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか（生徒：項目 32）
（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）
 - ・児童 66.6%（三重県73.4%、全国74.1%） 全国比- 7.5
 - ・生徒 76.5%（三重県74.2%、全国72.8%） 全国比+ 3.7
- ◇項目 31：総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。
（生徒：項目 34）
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）
 - ・児童 66.6%（三重県56.1%、全国65.7%） 全国比+ 0.9
 - ・生徒 66.2%（三重県53.8%、全国61.5%） 全国比+ 4.7
- ◇項目 32：あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。（生徒：項目 35）
（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）
 - ・児童 80.0%（三重県72.1%、全国74.0%） 全国比+ 6.0
 - ・生徒 91.2%（三重県73.4%、全国71.6%） 全国比+ 19.6

◇項目 33：学級活動における学級の話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか。(生徒：項目 36)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 83.3% (三重県72.5%、全国73.4%) 全国比+ 9.9
- ・生徒 82.3% (三重県66.2%、全国65.0%) 全国比+17.3

◇項目 34：道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。(生徒：項目 39)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 86.7% (三重県78.9%、全国80.9%) 全国比+ 5.8
- ・生徒 91.2% (三重県77.1%、全国76.6%) 全国比+14.6

【学校質問紙】

◇項目 32：調査対象の児童（生徒）は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。(中学校：項目 33)

(「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県87.7%、全国85.5%)
- ・中学校 100.0% (三重県84.4%、全国82.2%)

◇項目 37：調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県91.4%、全国89.3%)
- ・中学校 50.0% (三重県89.6%、全国88.0%)

◇項目 33：調査対象の学年の児童（生徒）に対して、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探求の過程を意識した指導をしていますか。

(中学校：項目 34)

(「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県88.5%、全国89.3%)
- ・中学校 100.0% (三重県83.8%、全国89.1%)

◇項目 34：調査対象学年の児童（生徒）に対して、学級生活をよくするために、学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか。(中学校：項目 35)

(「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県97.2%、全国94.5%)
- ・中学校 100.0% (三重県94.1%、全国93.2%)

◇項目 35：調査対象学年の児童（生徒）に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童生徒が意志決定できるような指導を行っていますか。(中学校：項目 36)

(「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県95.7%、全国93.1%)
- ・中学校 100.0% (三重県90.9%、全国91.4%)

◇項目 36：調査対象学年の児童（生徒）に対して、特別の教科 道徳において（中学校：前年度までに、道徳の時間において）、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか。（中学校：項目 39）

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県 97.7%、全国 96.7%）
- ・中学校 100.0%（三重県 90.2%、全国 92.6%）

■主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善については、どの項目とも一部を除いて全国平均より高い数値を示しています。児童は、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていない」と感じているようです。また、生徒は「1, 2年生の時に受けた授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたか」の問いに、肯定的に答えていません。全国平均よりやや低い傾向を示しています。「学校質問紙」でも、「調査対象の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたか」に対して、1校は「どちらかというも行っていない」と答えています。このあたりが影響しているのかもしれませんが、今後、きちんと取り組んで行かなくてはなりません。

■生徒の答えで、「学級生活をよくするために学級会で話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めているか」「学級の話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思うか」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいるか」の3つの問いには、どれも全国平均より10ポイント以上高く、よく話し合い活動に取り組、それが生徒のためになっていることが伺えます。

（7）規範意識に関わって

【児童生徒質問紙】

◇項目 13：学校のきまり（規則）を守っていますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 88.3%（三重県 92.0%、全国 92.3%） 全国比－ 4.0
- ・生徒 98.6%（三重県 96.9%、全国 96.2%） 全国比＋ 2.4

◇項目 14：人が困っているときは、進んで助けていますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 95.0%（三重県 88.8%、全国 87.9%） 全国比＋ 7.1
- ・生徒 85.3%（三重県 86.9%、全国 85.9%） 全国比－ 0.6

◇項目 15：いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 93.4%（三重県 97.5%、全国 97.1%） 全国比－ 3.7
- ・生徒 100.0%（三重県 95.4%、全国 95.1%） 全国比＋ 4.9

◇項目 16：人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 98.3%（三重県95.5%、全国95.2%） 全国比+ 3.1
- ・生徒 95.6%（三重県94.8%、全国94.3%） 全国比+ 1.3

【学校質問紙】

◇項目 8：調査対象学年の児童（生徒）は、熱意をもって勉強していると思いますか。

（「その通りだと思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県91.2%、全国89.4%）
- ・中学校 100.0%（三重県94.8%、全国89.3%）

◇項目 9：調査対象学年の児童（生徒）は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。

（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県90.3%、全国87.7%）
- ・中学校 100.0%（三重県94.8%、全国94.1%）

◇項目 10：調査対象学年の児童（生徒）は、礼儀正しいと思いますか。

（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県88.0%、全国87.8%）
- ・中学校 100.0%（三重県92.2%、全国93.5%）

◇項目 13：調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか。（生徒：項目 24）

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県97.1%、全国96.9%）
- ・中学校 100.0%（三重県96.7%、全国98.1%）

■「学校のきまり（規則）を守っているか」という項目については、生徒はよく守っていると答えていますが、児童の方は全国よりも低くなっています。児童の方に、きまり（規則）を守らなくてはいけないという意識が薄い傾向にあります。いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いませんか」という問いに対して、生徒は全員どんなことがあろうと「いけないこと」としています。しかし、児童の一部に「いじめはいけないことだ」ととらえていない子どもがいます。小学校でもう一度しっかりと「いじめ」について取組、何があっても「いじめ」は「悪い」ことだと答えられる子どもを育てて行かなくてはなりません。今後の人権教育等の取り組み、心の豊かな児童・生徒の育成への取組を強固なものになるよう取り組んで参ります。

■「人が困っているときは、進んで助けているか」「人の役に立つ人間になりたいか」のいう設問では、児童は全国平均より高い数値を示しています。生徒は、「困っているときは、進んで助けているか」で全国平均よりやや低くなっています。人の役に立ちたいと思っている子どもは多くいます。

■学校質問紙で、「学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守る）の維持を徹底したか」という問い

に対して、各小中学校ともに行ったと答えています。「児童・生徒は熱意をもって勉強していると思うか」「授業中の私語が少なく、落ち着いていると思うか」「児童・生徒は、礼儀正しいと思うか」という3つ設問に対し、全小・中学校とも肯定しています。「学習規律」が維持され、学習に前向きに取り組んでいる姿が伺えます。

(8)「国語」の学習に関わって

◇項目 37：国語の勉強は好きですか。(生徒：項目 40)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 68.3% (三重県 61.6%、全国 64.2%) 全国比+ 4.1
- ・生徒 61.7% (三重県 60.7%、全国 61.7%) 全国比± 0.0

◇項目 38：国語の勉強は大切だと思いますか。(生徒：項目 41)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 100.0% (三重県 93.3%、全国 93.0%) 全国比+ 7.0
- ・生徒 98.5% (三重県 92.1%、全国 91.0%) 全国比+ 7.5

◇項目 39：国語の授業の内容はよく分かりますか。(生徒：項目 42)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 90.0% (三重県 86.3%、全国 84.9%) 全国比+ 5.1
- ・生徒 89.7% (三重県 81.7%、全国 77.6%) 全国比+ 12.1

◇項目 40：国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。(生徒：項目 43)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 95.0% (三重県 91.7%、全国 91.2%) 全国比+ 3.8
- ・生徒 97.0% (三重県 89.6%、全国 88.0%) 全国比+ 9.0

◇項目 41：国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか。(生徒：項目 44)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 90.0% (三重県 75.8%、全国 76.9%) 全国比+ 13.1
- ・生徒 79.4% (三重県 72.5%、全国 71.6%) 全国比+ 7.8

◇項目 42：国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか。(生徒：項目 45)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 78.3% (三重県 76.9%、全国 78.1%) 全国比+ 0.2
- ・生徒 88.3% (三重県 77.7%、全国 77.4%) 全国比+ 10.9

◇項目 43：国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように理由を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫していますか。

(生徒：項目 46)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 78.3% (三重県 66.9%、全国 68.5%) 全国比+ 9.8
- ・生徒 75.0% (三重県 63.3%、全国 64.4%) 全国比+ 10.6

◇項目 44：国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか。

(生徒：項目 47)

(「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

- ・児童 75.0% (三重県70.5%、全国71.4%) 全国比+ 3.6
- ・生徒 80.9% (三重県67.9%、全国68.4%) 全国比+ 12.5

◇項目 45：今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。(生徒：項目 48)

(「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した割合)

- ・児童 80.0% (三重県82.5%、全国80.4%) 全国比- 0.4
- ・生徒 86.8% (三重県81.3%、全国79.8%) 全国比+ 7.0

【学校質問紙】

◇項目 39：調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。(中学校：項目 40)

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県89.1%、全国89.0%)
- ・中学校 100.0% (三重県90.3%、全国88.9%)

◇項目 40：調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか。(中学校：項目 41)

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県66.8%、全国62.4%)
- ・中学校 100.0% (三重県74.0%、全国74.6%)

◇項目 41：調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか。(中学校：項目 42)

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県93.4%、全国94.7%)
- ・中学校 50.0% (三重県87.0%、全国89.0%)

◇項目 42：調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか。(中学校：項目 43)

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県94.3%、全国92.8%)
- ・中学校 100.0% (三重県98.1%、全国95.3%)

◇項目 43：調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか。(中学校：項目 44)

(「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県89.1%、全国88.2%)
- ・中学校 100.0% (三重県92.9%、全国89.9%)

◇項目 44：調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか。

（中学校：項目 44）

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県 98.9%、全国 98.3%）
- ・中学校 100.0%（三重県 98.7%、全国 98.3%）

■「国語」に関するすべての設問で、児童・生徒ともほぼ全国平均を上回っています。児童の場合、「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしているか」という問いには、全国平均より 10 ポイント以上高い数値を示しています。生徒は、「国語の授業の内容はよく分かるか」「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしているか」「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫しているか」「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいるか」の 4 点については、いずれも全国平均より 10 ポイント以上高く、考えて国語の授業に臨んでいることが分かります。

■「国語の問題について、解答を文章で書く問題があったが、どのように解答したか」という設問で、児童は全国平均よりわずかに低い数値ですが、80%の児童が「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と答えています。生徒は、86.8%が最後まで書くことに努力をしています。全国よりも 7 ポイント高くなっています。最後まで努力した結果が、国語の結果につながっているものと考えます。

（9）「算数・数学」の学習に関わって

◇項目 46：算数・数学の勉強は好きですか。（生徒：項目 49）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 61.7%（三重県 70.1%、全国 68.6%） 全国比－ 6.9
- ・生徒 63.2%（三重県 60.2%、全国 57.9%） 全国比＋ 5.3

◇項目 47：算数・数学の勉強は大切だと思いますか。（生徒：項目 50）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 91.7%（三重県 94.1%、全国 93.7%） 全国比－ 2.0
- ・生徒 95.6%（三重県 86.1%、全国 84.2%） 全国比＋ 11.4

◇項目 48：算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。（生徒：項目 51）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 88.3%（三重県 85.7%、全国 83.5%） 全国比＋ 4.8
- ・生徒 92.7%（三重県 79.1%、全国 73.9%） 全国比＋ 18.8

◇項目 49：算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。（生徒：項目 52）

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・児童 93.3%（三重県 93.3%、全国 92.5%） 全国比＋ 0.8
- ・生徒 91.2%（三重県 78.8%、全国 76.2%） 全国比＋ 15.0

【以下：小学校のみ】

◇項目 50：算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・児童 76.6%（三重県76.4%、全国76.5%） 全国比+ 0.1

◇項目 51：算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・児童 78.3%（三重県80.0%、全国79.1%） 全国比- 0.8

◇項目 52：算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・児童 83.3%（三重県83.1%、全国82.0%） 全国比+ 1.3

◇項目 53：算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・児童 88.3%（三重県82.4%、全国82.1%） 全国比+ 6.2

◇項目 54：算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・児童 86.7%（三重県84.3%、全国84.0%） 全国比+ 2.7

◇項目 55：算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・児童 90.0%（三重県87.1%、全国87.0%） 全国比+ 3.0

◇項目 56：今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。

（「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した割合）

・児童 88.3%（三重県81.9%、全国80.7%） 全国比+ 7.6

【中学校】

◇項目 53：今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか。

（「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した割合）

・生徒 70.6%（三重県63.1%、全国60.8%） 全国比+ 9.8

【学校質問紙】

◇項目 45：調査対象学年の児童（生徒）に対する算数・数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。（中学校：項目 46）

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

・小学校 100.0%（三重県95.1%、全国96.5%）

・中学校 50.0%（三重県90.9%、全国94.3%）

◇項目 46：調査対象学年の児童（生徒）に対する算数・数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか。（中学校：項目 47）

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県 80.3%、全国 72.8%）
- ・中学校 100.0%（三重県 81.8%、全国 76.5%）

◇項目 47：調査対象学年の児童（生徒）に対する算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。

（中学校：項目 48）

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 75.0%（三重県 84.8%、全国 82.4%）
- ・中学校 50.0%（三重県 75.3%、全国 78.1%）

◇項目 48：調査対象学年の児童（生徒）に対する算数・数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか。（中学校：項目 49）

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

- ・小学校 100.0%（三重県 98.8%、全国 97.7%）
- ・中学校 100.0%（三重県 92.9%、全国 96.6%）

■中学生の「数学」に関する設問は少なく、小学生の設問が多くなっています。児童は「算数の勉強は好きか」という問いに対しては、全国平均よりも低い数値を示しています。また、「算数の勉強は大事だと思うか」「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思うか」という問いについても、全国平均より少し低くなっています。しかし、残りの7項目は全国平均より高い数値を示しているところから、算数に関してもそれなりに考えて取り組んでいるように考えられます。

■生徒関係の4項目の内、「数学の勉強は大切だと思うか」「数学の授業の内容はよく分かるか」「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思うか」の3問については、いずれも全国平均より10ポイント以上高い数値を示しており、数学に真摯に取り組んでいることが分かります。

■「算数・数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題で、どのように解答したか」の問いに、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答している児童・生徒とも全国よりも多く、高い数値を示しています。

■学校質問紙では、「補充的な学習の指導」や「発展的な学習の指導」「計算問題などの反復練習をする授業」については、小中学校全校が取り組んでいます。「実生活における事象との関連を図った授業」については、各校の実情に合わせて行っています。

(10)「英語」の学習に関わって

【生徒質問紙】

◇項目 54：英語の勉強は好きですか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

- ・生徒 60.3%（三重県 55.5%、全国 56.0%） 全国比+ 4.3

◇項目 55：英語の勉強は大切だと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・生徒 88.3%（三重県86.0%、全国85.4%） 全国比+ 2.9

◇項目 56：英語の授業の内容はよく分かりますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・生徒 85.3%（三重県69.3%、全国66.0%） 全国比+19.3

◇項目 57：英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・生徒 94.1%（三重県86.3%、全国85.4%） 全国比+ 8.7

◇項目 58：あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にありましたか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・生徒 53.0%（三重県35.7%、全国33.8%） 全国比+19.2

◇項目 59：あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・生徒 45.6%（三重県43.0%、全国41.3%） 全国比+ 4.3

◇項目 60：1，2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・生徒 92.6%（三重県80.4%、全国79.2%） 全国比+13.4

◇項目 61：1，2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・生徒 92.6%（三重県81.8%、全国81.2%） 全国比+11.4

◇項目 62：1，2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・生徒 89.7%（三重県64.7%、全国62.9%） 全国比+26.8

◇項目 63：1，2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・生徒 94.1%（三重県75.0%、全国77.2%） 全国比+16.9

◇項目 64：1，2年生のときに受けた授業では、自分の気持ちなどを書く活動が行われていたと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・生徒 97.1%（三重県78.7%、全国80.7%） 全国比+16.4

◇項目 65：1，2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・生徒 92.6%（三重県76.6%、全国77.4%） 全国比+15.2

◇項目 66：1，2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか。

（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合）

・生徒 97.0%（三重県72.8%、全国74.6%） 全国比+22.4

【学校質問紙】

◇項目 50：調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、補足的な学習の指導を行いましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

・中学校 50.0%（三重県90.9%、全国91.5%）

◇項目 51：調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

・中学校 100.0%（三重県82.4%、全国75.4%）

◇項目 52：調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

・中学校 100.0%（三重県87.0%、全国87.2%）

◇項目 53：調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

・中学校 100.0%（三重県95.5%、全国90.9%）

◇項目 54：調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、原稿などを準備することなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

・中学校 100.0%（三重県64.3%、全国65.1%）

◇項目 55：調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

・中学校 100.0%（三重県74.0%、全国80.8%）

◇項目 56：調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、自分の考えや気持ちを書く言語活動を行いましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

・中学校 100.0%（三重県 81.8%、全国 87.6%）

◇項目 57：調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

・中学校 100.0%（三重県 63.6%、全国 62.4%）

◇項目 58：調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いたりまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

・中学校 50.0%（三重県 56.5%、全国 63.5%）

◇項目 59：調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、生徒が英語で接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、どの程度、授業を英語で行いましたか。

（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合）

・中学校 100.0%（三重県 87.0%、全国 86.0%）

■英語は、本年度初めて調査されました。英語に関連する13の設問全部について本町生徒の回答は、全国平均を上回っています。「1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思うか」「1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思うか」の2つの設問では、全国より10ポイント以上高い数値を示しています。

■「英語の授業の内容はよく分かるか」「あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分あったか」「1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思うか」「1, 2年生のときに受けた授業では、自分の気持ちなどを書く活動が行われていたと思うか」「1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたか」の5つの問いには、全国平均より15ポイント以上高い数値を示しています。

■「1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思うか」「1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思うか」の2つの設問については、ともに20ポイント以上の非常に高い数値を示しています。

■中学校における「英語」の授業では、それぞれの授業で工夫した内容で取り組まれていることが分かります。また、生徒たちもそれをよく理解していることが、90%以上の

高い数値を刻んでいることから分かります。また、昨年度からALTを2名に増やしたことから、英語のそれぞれの時間でALTを活用して授業に臨んでいることも多きことかと考えます。

(11) 学校運営に関する取組状況について

【学校質問紙】

◇項目 21：学校として業務改善に取り組んでいますか。

(「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県 99.4%、全国 98.5%)
- ・中学校 100.0% (三重県 99.4%、全国 97.8%)

◇項目 17：児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。

- ・小学校 100.0% (三重県 97.2%、全国 95.4%)
- ・中学校 50.0% (三重県 94.1%、全国 93.4%)

■各小中学校とも業務改善に取り組んでいる。近年、働き方改革が叫ばれているが、特に学校では業務改善に取り組み、教職員がゆとりをもって児童・生徒に向かうことが大切となります。その意味でも、業務改善の取組は大切です。

(12) 調査結果の取扱い

【学校質問紙】

◇項目 63：平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか (中学校：項目 79)

(「よく行った」「行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県 99.1%、全国 97.3%)
- ・中学校 100.0% (三重県 98.1%、全国 95.7%)

◇項目 64：平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか。(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む) (中学校：項目 80)

(「よく行った」「行った」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県 99.2%、全国 91.2%)
- ・中学校 100.0% (三重県 96.7%、全国 87.5%)

◇項目 20：全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか。

(「よく行った」「どちらかといえば、行っている」と回答した割合)

- ・小学校 100.0% (三重県 98.2%、全国 95.3%)
- ・中学校 100.0% (三重県 98.1%、全国 93.7%)

■「調査結果の取扱い」については、小中学校とも全ての項目でほぼ取り組んでいます。
できていないところは、今後どのようにすればよいか話し合っていきます。

3 大台町におけるこれまでの取り組みと成果と課題

(1) これまでの取り組み

- 「大台町学校教育の方針」の策定と各学校での具体化した取り組み。
- 大台町小中学校連携教育推進事業の中で、学力向上推進委員会主催による全体研修会の開催。
- 学力向上推進委員会における、C R T（学力標準検査）の分析結果や学力向上の取り組みの交流。
- 多気郡学力向上推進会議における講師を招聘しての研修会の開催と実践交流。
- 指導主事による学校訪問と授業研究・事前事後検討会における指導・助言。
- 学校図書館・室の充実のため、町図書館司書を派遣。
- 町の図書館司書と連携した資質向上の取り組み。

(2) 成果と課題

【教科に関する調査】

① 各教科の平均正答率と無回答率の状況

○小・中学校とも国語・算数とも全国平均より高い数値を示しています。
中学校の英語も全国平均より高い数値を示しています。

○無回答率が、全国に比べて低くなっています。

- ・小国…大台町 2. 86%（県5. 47%、全国6. 21%）
- ・小算…大台町 0. 24%（県2. 49%、全国2. 66%）
- ・中国…大台町 0. 74%（県2. 57%、全国2. 64%）
- ・中数…大台町 5. 79%（県6. 65%、全国7. 31%）
- ・中英…大台町 4. 27%（県5. 44%、全国5. 99%）

無回答率は、小・中学校の全教科とも三重県・全国の平均よりも低くなっています。

どの教科も最後まで諦めずに取り組んだ結果であると考えます。特に、小学校の算数と中学校の国語はともに0%台であるので、いかにしっかり答えたかが伺えます。

② 教科に関する調査から

【◇正答率 80%以上かつ全国平均正答率以上、◆平均正答率 30%未満
もしくは全国平均正答率－10%・無答率 20%以上】

〈小学校国語〉

- ◇目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む。
- ◇目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む。
- ◇話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする。
- ◆目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。
- ◆学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う。（調査の対象、関心を持つ）

〈小学校算数〉

- ◇台形について理解している。
- ◇棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。
- ◇示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる。
- ◆資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる。
- ◆示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質が記述できる。

〈中学校国語〉

- ◇文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。
- ◇書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する。
- ◇語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方が理解する。

〈中学校数学〉

- ◇平行移動の意味が理解している。
- ◇証明の根拠として用いられている三角形の合同条件が理解している。
- ◇総合的・発展的に考察し、得られた数学的な効果を事象に即して解釈することができる。
- ◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。
- ◆資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。
- ◆問題を解決するためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる。

〈中学校英語〉

- ◇教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる。
- ◇文の中で適切に接続詞を用いることができる。
- ◇一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる。
- ◆まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる。
- ◆書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを捉えることができる。
- ◆与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりに注意してまとまりのある文章を書くことができる。

4 児童生徒の学びの充実を図るための今後の取組

(1) わかる授業の推進

- ①すべての児童生徒が、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できる授業づくりを進めます。
 - 必要な知識・技能についてしっかりと教える。
 - つまずきやすい内容を事前に把握し、確実な修得を図るための繰り返し学習を行う。

○教材・教具の再点検及び積極的活用。

- ②「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を行い、思考力・判断力・表現力を育む授業づくりを進めます。
- 問題解決的な学習の基本的な取り組み。
 - 他の考えを受け入れて、判断する力。
 - 目的や相手に応じて話したり、聞いたりする力。
 - 資料やグラフ・表を読み取る力。
 - ICT等を活用して資料を使って表現できる力。
 - 目的に応じて資料を読み、自分の考えを書いたり、理由が分かるように書いたりする力。
- ③「見通す・振り返る活動」を重視した授業づくりを進めます。
- めあての提示の工夫、例えば「日常の生活場面からの問題提起」「驚きや感動を与える導入」「既習事項との関連（習得した知識・技能の活用）に気づく導入」授業等。
 - 補充的・発展的な学習指導の充実。
 - 引き続き振り返る活動について、その時間の確保に努め、学力定着につながるあり方を工夫していく。

(2) 研修の推進

- ①習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の研修を充実させ、学校の教育活動に学力向上のPDCAサイクルを無理なく位置づけます。
- ②小中連携教育推進会議において、全国学力・学習状況調査、CRT検査の分析結果や、学力向上の取り組みの交流を継続することにより、各校でのより有効な授業実践につなげます。また、今年度は各校の学習規律の交流を通して、「大台町学習規律の系統表」作成に取り組みます。

(3) 学習、生活習慣の改善

- ①昨年度、小中学校連携教育推進会議において「大台町家庭学習系統表」を作成しました。これを活用しながら自主的な学習習慣の確立を図るとともに、特に小学校段階からの学習習慣の確立（昨年比小+7.3%、中+4.7%）を図るために、家庭と連携します。
- ②全ての学校教育活動を通じ、児童・生徒の自己肯定感、自己有用感を醸成（昨年比小-0.7%、中+4.7%）します。また、家庭と連携して子どもを「褒める」取組を充実させていきます。